

# 天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

## 厳しい言葉の裏側に

7月4日(日)から中体連地区大会が始まります。試合までの残り少ない期間、あなた達の可能性を更に引き出し、悔いなく試合に臨むために顧問の先生から、より熱い指導がなされることでしょう。

中体連を間近に控えたこの時期になると、ある出来事を思い出します。20年程前の話です。その年の5月20日(日)に柔道の県大会がありました。男女各7階級、合計14階級に10名が出場しました。そのうちの何人かは、今までの練習で培った力量、技の習得具合、対戦相手などから見て上位入賞するのではないかと顧問の私は期待していました。これは選手も同じ気持ちであったと思います。

試合は白熱し、接戦につぐ接戦でしたが、結果は90kg超級に出場した選手の準優勝だけでした。一人ひとり自分の力を出し切った結果ではありましたが、多くを期待していた私の心には「ポッカリ」穴があいたようで力が入りませんでした。当然、それ以上に高い目標を掲げていた選手自身もがっかりしたことでしょう。

試合も終わり表彰式、会場の後片づけが終了した後、全員を集めて話をしました。

「情けない試合をしたとは思わないが、残念でしかたがない。力を出し切ったのなら悔いもないだろうが、私は悔しい気持ちでいっぱいだ。もしかしたら君たちよりも悔しい思いをしているかも知れない。」生徒は真剣に聞いていました。

「試合というのは、自分のために戦うとよく言うけれど、私は必ずしもそうは思わない。出場できなかった部員、減量のために食事メニューを考えてくれたお家の人、広い練習場を提供してくれる高校や武道館の人達。そんな人達の思いを背負って戦うことも大切だ。

「誰かのために」という気持ちがあれば練習や試合の苦しい場面でも簡単に気持ちが折れることなく踏ん張ることができる。まだまだ時間はある。夏の中体連が本番だ。それまでできることをやっつけていこう。」とこんなことを生徒に語ったと思います。

そうは言ったものの、次の日私は試合結果の失意から気持ちを立て直すことができず、放課後の練習を見に行くことができませんでした。火曜日の放課後、職員室で少し仕事を済ませてから柔道場に行くと、そこには以前にも増して気合いに満ちて練習に取り組む、部員の姿がありました。「練習ですべて力を出し切るんだ。」「次の試合こそ勝ってやるぞ。」という気迫がすごく伝わってきました。その姿を見て私はすごく嬉しかったです。何より私の気持ちが伝わったのだと思いました。そして私も「もう一度踏ん張って頑張ろう!」と気持ちを切り替えることができました。

自分の気持ちを人に伝え、理解してもらうのは難しいことです。耳の痛い話なら尚のこと。しかし、「厳しい言葉」の裏側には気づいてほしい、何かを伝えたいという先生方の思いが必ずあるはずです。



## 「教育相談」実施中



6月1日(火)～6月11日(金)の期間「教育相談」を実施しています。実施に当たって相談がスムーズに行われるように事前にアンケートを行いました。期待と不安で始まった新学期。2か月余りが経過しましたが、今の心境はどうですか。思っていたより楽しい。やっぱりまだ不安な気持ちが多いなど思いは様々でしょう。一つ言えるのは「悩み」は抱え込まないことです。誰かに話すことで気持ちが軽くなったり、解決の道が開けたりすることもあります。相談できるのは教育相談期間中だけではありません。先生方は毎日「Open My Heart」の姿勢です。いつでも気軽に相談してください。



### 【お知らせします】

熱中症に注意が必要な季節がやってきました。予防のために水筒などにスポーツ飲料を入れてきててもよいです。ペットボトルの場合は誤飲などを防ぐためにケースに入れてきてください。また、首元を冷やす冷却タオルの使用も可です。適切、有効に使って熱中症を防ごう！



## 6/16(水)～24(木)は「ノーメディア週間」です

天栄中学校区では小中学校が協力して各学期に「ノーメディア週間」を設定しています。1学期は6月23日(水)から始まる期末テストに合わせて、テスト週間の6月16日(水)～6月24日(木)の9日間を「ノーメディア週間」とします。「ノーメディア週間」はスマホやゲームなどの使用時間を自己管理し、テスト勉強に集中することを目的としています。テスト勉強に集中するのは「自分」だけでなく「他の人」も一緒です。

自分が休憩時間だからといって「他の人」も休憩時間とは限りません。勉強に集中している時間かもしれません。この期間中はLINEなどのSNSでのやり取りを控え、お互いの時間を大切にしよう。

(ここで一句)「無視じゃない 返信ないのは 勉強中」



### 受け継がれる「ボランティア精神」

ある日の昼休み、校舎を巡回していると見慣れない生徒達が給食ワゴンの後片付けを手伝ってくれているのを見かけました。教頭先生に聞くと「1年生の子が手伝ってくれています。」とのこと。私は嬉しくなって早速取材しました。クレウス夢作志くん、近藤奏斗くん、眞弓拓豊くん(いずれも1-D)ありがとう。本当に助かっています。これからもよろしくお願いします。